

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	06022-1	事業名	一般事業(林業振興事業)	部名	環境産業部
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造			室名	森林林業室
	基本施策	04:自然との共生			財 会 計	一般会計
	施策の方向	01:自然資源の保全と多様な生態系の確保			務 款	農林水産業費
	戦略プロジェクト				科 項	農林水産業費
				目 目	林業振興費	

② 目的・概要	対象	市民
	目的・概要	観光資源である「みつまた」の群生地 of 生育環境の変化などに伴い、従来の群生地から新たに「みつまた」植生地を観光資源とし、次世代に継承・保存していくことを目的とする。

			24 年度	25 年度	26 年度
③ 指標	活動	① 名称 協働事業活動回数	計画値		
		補足	実績値	6	7
			単位	回	回
	成果	② 名称	計画値		
		補足	実績値		
			単位		
① 名称	計画値				
	実績値				
	単位				

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	740	
		国庫支出金		1,580	1,568	一般職員人件費 ②	740	平均給与額 × ③
		県支出金				所要人員 ③	0.10	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他		3	3	受益者負担額 ⑤		
		一般財源		1,577	1,565	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費		①	740		
			総コスト		⑥	2,308		

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	<p>みつまたの苗木の植樹を通して、一般の参加者に「みつまたの森創造事業」の目的や次世代へ里山づくりにより環境を保全していく必要性を実感してもらえた。また、協働事業により行政と団体のお互いのノウハウを活かし、みつまたを保存していくことで、地域の活性化と市の新たな観光資源となった。</p> <p>林業振興団体に補助金を交付することにより、林業の活性化を図る事業等が実施され、森林所有者や子供たちに対し、森林整備の必要性や関心が高まった。</p>	総合判定	B
	【反省点・課題】	<p>協働事業は1年(平成26年度)で終了するが、市として地域の活性化と新たな観光資源を保全していく必要がある。林業振興団体による森林所有者や子供たちへの森林整備の必要性や関心を高める活動は重要であり、さらに促進されることが求められる。</p>	まずまず進んだ	

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	<p>引き続き、みつまたを愛する会と市の関係室(観光振興室、用地管理室、都市計画室、森林林業室)が協働して、みつまたを次世代に継承・保存していく活動を行う。</p> <p>今後も林業関係団体の主体的な取組が積極的に促進されるよう、連携を図りながら引き続き支援していく。</p>
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切